

協定企業を知りまSHOW

学校法人昌賢学園 群馬医療福祉大学

群馬医療福祉大学は、学生が地域に出向き、地域が抱える課題を共に考え、取り組むことで、地域の力になりながら、学生の学修する機会を得ています。本学は、ボランティアを必修科目としており、渋川市でもマラソンやラリーなどのイベントをボランティアとして支援し、地域を盛り上げてきました。今後は、渋川市の子育て・介護・健康づくりなどの分野における計画の数値目標を達成するための取り組みに、学生が企画から実行まで関わる機会を設けられたらと考えています。これからも渋川市と積極的に連携を図り、医療費の削減や子育て支援など、地域が抱える課題解決に貢献してまいります。



理事長・学長
鈴木 利定さん



前橋・渋川シテイマラソン
ボランティアの様子

▶ 時田教授による子育て支援従事者研修会



お知らせ

地域には教科書では学べないことがたくさんあります。学生が地域の皆さまに携わることで、県内自治体の事業において、多くの成果が出ています。医療・福祉分野に関わらず、地域の力になれる学生を育てます。

問合せ先 本政策創造課 (☎221880)



表紙の写真

1月28日から2月9日まで、市役所第二庁舎で渋川・北群馬図工美術作品展が開催されました。これは、地区内の小中学校の児童・生徒が、学校の授業で制作した作品のうち、各校を代表する傑作を展示するもの。今回は、29校から計501点の作品が出品され、水彩画、デザイン画、粘土細工などの逸品が、来場者の目を楽しませていました。



サイズ…高さ22cm
種別…缶からアート
作品名…カエル缶がえる



相川 輝仁さん
(2年)

カエルが苦手な人にもカエルを好きになってもらいたいと思って作品にしました。大きな目を表現するのに、バランスを取るのが難しかったです。首のスカーフは、旅立つ勇者をイメージしました。

防災無線の自動音声電話番号

☎0800-800-7373

ほっとマップメールで
市の情報を配信



「マチイロ」で
広報しづかわを配信

